

6月4日(金)

市内で東京2020オリンピック聖火リレーが行われました

新潟県では、2日間の日程で聖火リレーが行われ、当市は1日目の最終区間として、大和庁舎から浦佐大橋や浦佐バイパスを通過し、八色の森公園までの約2.5kmを14人で聖火をつなぎました。

八色の森公園ではセレブレーションが行われ、林市長と当市出身のシンガーソングライター TSUNEI さん、ソチオリンピック銅メダリストの小野塚彩那さんによるトークセッションや、パートナー企業によるダンスや吹奏楽などが披露されました。

聖火の到着セレモニーでは、最終走者の魚沼市出身のお笑いタレント「おばたのお兄さん」が聖火を掲げ、多くの人々の歓迎を受けながら聖火皿に点火をしました。林市長は「聖火リレーのコンセプトは『Hope Lights Our Way 希望の道をつなごう』です。この聖火が、道しるべとなり、日本全国・世界のみなさんに希望を届けていってほしいと思います。」とあいさつをしました。

市内リレーの第一走者を務めた峠蓮人さんは「とても緊張しましたが、応援してくれるたくさんの人に、笑顔や勇気を与えられる走りができたと思います」とリレーの感想を語りました。



聖火リレー走者のみなさん



左から TSUNEI さん、林市長、小野塚彩那さん



パートナー企業によるプログラムの披露



最終走者の「おばたのお兄さん」



雪の利活用事業で保管していた雪を活用し、セレブレーション会場に雪だるまを作成して展示したり、雪で保管して開花を調整した桜を当日に合わせて咲かせる活動を行いました。